

教育委員会事務局文化財課
担当者 安（やす）
内 線 5625
直 通 225-1844

国の文化財の指定・登録について

- 1 国の文化審議会（会長 しまたに ひろゆき 島谷 弘幸）は、令和7年6月20日（金）に、だいしょうじじょうあと大聖寺城跡（加賀市）を史跡に指定し、ひらき していえん平木氏庭園、やまだ していえん山田氏庭園（金沢市）を同じく登録記念物（名勝地関係）に登録するよう、文部科学大臣に答申した。
- 2 答申どおり指定・登録されれば、県内の国指定史跡は27件、国登録記念物（名勝地関係）は3件となる。

だいしょうじょうあと
大聖寺城跡

名 称	大聖寺城跡
種 別	史跡（国指定）
所在地	加賀市大聖寺地方町古城山1番1 ほか
面 積	126,935.11㎡
時 代	戦国時代～江戸時代初
所有者	加賀市、個人
概 要	

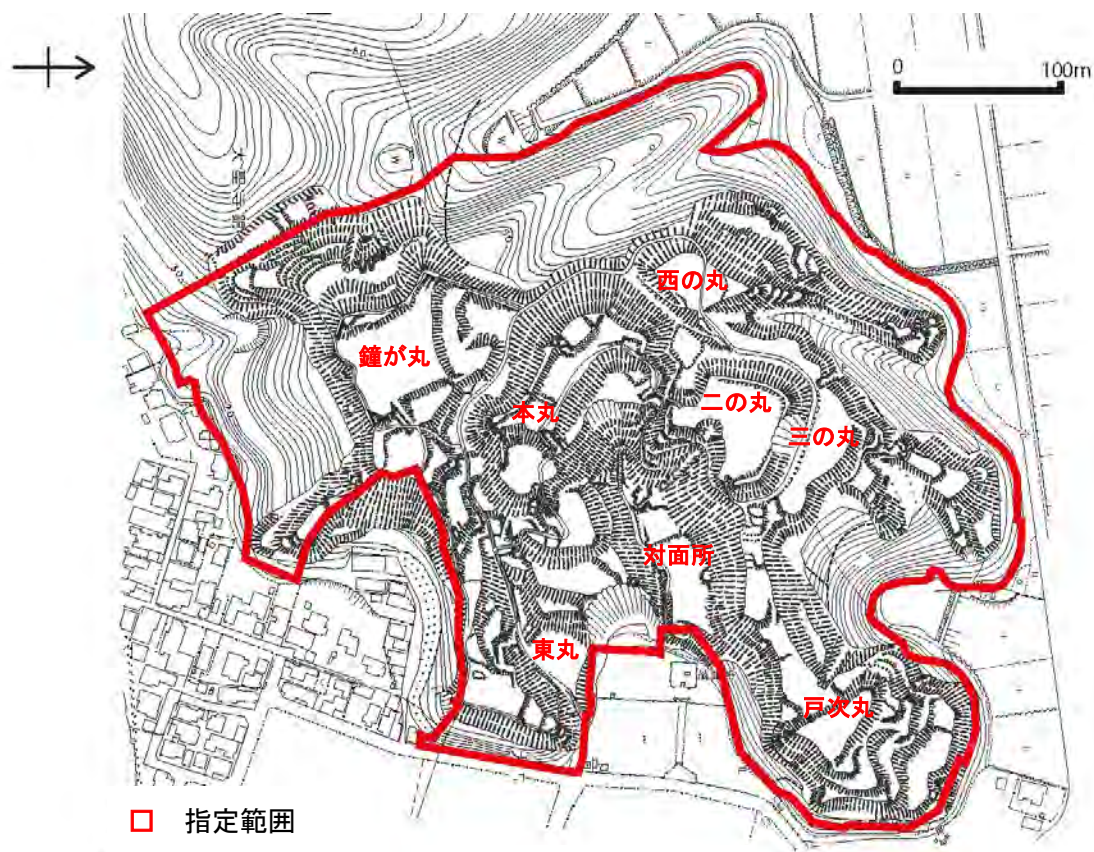
大聖寺城跡は加賀市大聖寺の市街地西方に位置する。戦国時代には加賀一向一揆の拠点の一つであり、越前朝倉氏の侵攻に際しては度々占拠された。天正3年（1575）以降は織田・豊臣両氏が支配し、同11年（1583）には丹羽長秀の配下である溝口秀勝が、慶長3年（1598）には小早川秀秋の配下である山口玄蕃宗永が城主となった。同5年（1600）に前田利長に攻められ落城した後、元和元年（1615）の一国一城令で廃城になっている。

江戸時代に作製された大聖寺城の絵図には、城のほぼ中心に本丸、その北の二の丸、同じく南の鐘が丸、その周辺には三の丸、西の丸、東丸、戸次丸、対面所の曲輪や虎口、それらを連絡する道が描かれており、加賀市がこれまでに実施した縄張調査・測量調査の結果と概ね一致し、遺構が良好に保存されていることが裏付けられている。また、同じく実施した発掘調査では、本丸で石垣や石組溝、二の丸で空堀等を確認し、対面所で土師器が多く出土する等、新たな知見が得られている。

以上のように、大聖寺城跡は戦国時代の加賀国の地域支配の拠点であり、政治状況の変化を知る上で重要であり、価値が高い。



大聖寺城跡 位置図



大聖寺城跡 縄張図



大聖寺城跡 空中写真



大聖寺城跡 本丸



大聖寺城跡 発掘調査状況

登録記念物（名勝地関係）

ひらき していえん
平木氏庭園

やまだ していえん
山田氏庭園

①平木氏庭園

所在地 金沢市菊川1丁目363番1ほか

面積 86.38㎡（民有地）

時代 江戸時代末

概要

金沢城下町にあった武家（足軽）居住地に所在する。庭園は敷地に隣接する鞍月用水から取水し、玉石積みの水路、雪見灯籠、サツキ等の植栽で構成され、敷地内住宅の座敷から観賞する。金沢城下町と歴史的用水に由来する造園文化を示す意義深い事例であり、後世に伝えていくべき価値がある。

②山田氏庭園

所在地 金沢市長町2丁目49番

面積 170.71㎡（民有地）

時代 昭和初期

概要

金沢城下町にあった武家（平士）居住地に所在する。庭園は住宅の前面の狭小な前庭と背後の広々とした主庭に分かれ、対照的な造形をなす。前庭は地区を流れる大野庄用水から取水し石組護岸の深い池に導く。主庭は平庭で、灯籠や蹲踞、景石等を配する。金沢城下町と歴史的用水に由来する造園文化を示す意義深い事例であり、後世に伝えていくべき価値がある。



平木氏庭園、山田氏庭園の位置



平木氏庭園



山田氏庭園（前庭）